

# 第

# 「第九シンフォニー」 歓喜の歌!



指揮：秋山 和慶

独唱：

老田 裕子 (ソプラノ) 福原 寿美枝 (アルト) 松本 薫平 (テノール) 山田 大智 (バス)

合唱：川西市民合唱団

管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団

ベートーヴェン

「エグモント」序曲 op.84

交響曲第9番 二短調「合唱付」 op.125

2023

# 3/5(日)

## 3:00PM開演 (2:30PM開場)

## 川西市 キセラホール

阪急・能勢電鉄川西能勢口駅東口徒歩15分、能勢電鉄絹延橋徒歩5分  
〒666-0017 川西市火打1丁目12番16号 キセラ川西プラザ内

入場料〈全席指定席〉：一般 4,000円

割引 (小・中・高生、障がいのある人) 2,600円

※就学前のお子様の同伴・入場はお断りいたします。

■主催：(公財)川西市文化・スポーツ振興財団 ■後援：川西市、川西市教育委員会 ■協力：池田泉州銀行、(株)自然総研

■ご予約・お問い合わせ：みつなかホール 072-740-1117 〒666-0015 川西市小花2-7-2

<https://www.kawanishi-bunka-sports.com> <https://www.facebook.com/mitsunaka.bunka> <https://twitter.com/mitsunakahall>

前売券発売所：みつなかホール072-740-1117、ローソンチケット Lコード：56207、キセラホール072-757-1920 ※一般のみ

●前売券完売の場合は、当日券はありませんのでご了承ください。●駐車スペースには限りがあります。ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。

# ベートーヴェンが交響曲の常識を破りロマン派の扉を開いた超傑作「第九」 第1楽章から第3楽章にかけてのすべてが、緻密に計算された作品であり 独唱、合唱が加わる第4楽章への壮麗な「歓喜の歌」への物語である

## ◆秋山 和慶(指揮) Kazuyoshi Akiyama, conductor

1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。

2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

## ◆関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足の関西を代表するオーケストラ。2018年公益財団法人化、2020年に楽団創立50周年を迎えた。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年4月より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年1月より桂冠名誉指揮者に就任。人間の営みから生まれた音楽・・・『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。クラシック音楽の裾野を広げる活動など、明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。2014年10月よりスタートしたBSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8時30分)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」(2021年1月23日 ザ・シンフォニーホール)が、2021年度音楽クリティック・クラブ賞本賞を受賞。2023年4月より鈴木優人が首席客演指揮者に就任。

●オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

## ◆川西市民合唱団 Kawanishi Civic Chorus

1994年に発足。川西市文化・スポーツ振興財団が毎年開催している「市民合唱とオーケストラ」シリーズでは、大阪フィル、関西フィルと日本の代表する指揮者、小林研一郎、佐渡裕、井上道義、沼尻竜典、佐藤功太郎、円光寺雅彦、大友直人、藤岡幸夫、飯守泰次郎、秋山和慶、山下一史、牧村邦彦、岩村力(共演順)の指揮で、モーツァルト「レクイエム」、「第九」、「カルミナ・ブラーナ」、「オペラ合唱とカルメン・ハイライト」、「メサイア」、ブラームス「ドイツ・レクイエム」、プッチーニ&プーランク「グローリア」、ヴェルディ「レクイエム」、「アイダ」、ハイドン「四季」を共演。2年に一度定期演奏会を開催するなど地域に根ざした市民合唱団として活発な活動を展開し、高い評価を得ている。

指導者:杉江 康 ヴォイストレーナー:宮西 央子、津國 直樹、三木 秀信

練習ピアニスト:南 なほき、竹村 美和子、尾崎 克典

●ホームページ <http://kcc2010.sakura.ne.jp/>



※駐車スペースは限られております。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



**川西市キセラホール(低炭素型複合施設キセラ川西プラザ内)**  
[所在地]〒666-0017 川西市火打1丁目12番16号 ☎072-757-1920  
(交通)阪急電鉄宝塚線 川西能勢口駅下車、徒歩約15分  
能勢電鉄妙見線 絹延橋駅下車、徒歩約5分  
<https://www.kisela-kp.jp/facility/kisera-hall/>

**池田泉州銀行**

すみれの花  
定期預金

お預入れ金額100万円以上 100万円単位・期間1年

毎月の抽選で

宝塚歌劇に  
ご招待 年間1,000組  
2,000名様

※ボーナス抽選をきむ



◀本定期預金について詳しくはコチラから